



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2006, 86(3): 488-490

ISSUE DATE:

2006-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/110503>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成18年6月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第86巻 第3号

ISSN 0525-2997

vol.86 no.3

物性研究

2006 / 6

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限りします。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限りします。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

「学問の系譜」参加者一覧 (現在無職の方については、以前の所属を()に入れて記した。)

氏名	Name	所属	氏名	Name	所属
青井 順一	Aoi, Junichi	立命館大学	丹生 潔	Niu, Kiyoshi	(名古屋大学)
青木 健一	Aoki, Ken-Ichi	金沢大学	小原 みどり	Obara, Midori	お茶の水女子大学
荒船 次郎	Arafune, Jiro	大学評価学位授与機構	大久保 茂男	Ohkubo, Shigeo	高知女子大学
新井 彰	Arai, Akira	大阪教育大学	大倉 宏	Ohkura, Hiroshi	大阪市立科学館
坂東 昌子	Bando, Masako	愛知大学	大貫 義郎	Ohnuki, Yoshio	(名古屋大学)
千葉 剛	Chiba, Takeshi	日本大学	奥住 聡	Okuzumi, Satoshi	京都大学
近松 健	Chikamatsu, Takeshi	宮城学院女子大学	大沢 文夫	Oosawa, Fumio	(名古屋大学)
江口 徹	Eguchi, Toru	東京大学	小澤 碧	Ozawa, Midori	京都大学
江沢 洋	Ezawa, Hiroshi	(学習院大学)	佐々 真一	Sasa, Shin-ichi	東京大学
深田 守	Fukada, Mamoru	京都薬科大学	佐々木 節	Sasaki, Misao	京都大学
福江 翼	Fukue, Tsubasa	京都大学	笹倉 直樹	Sasakura, Naoki	京都大学
伏見 康雄	Fushimi, Yasuo	京都大学	佐藤 文隆	Sato, Humitaka	甲南大学
長谷部 一気	Hasebe, Kazuki	京都大学	沢田 昭二	Sawada, Shoji	(名古屋大学)
波多野 恭弘	Hatano, Takahiro	東京大学	関谷 幸祐	Sekiya, Kosuke	立命館大学
早川 尚男	Hayakawa, Hisao	京都大学	白水 徹也	Shiromizu, Tetsuya	東京工業大学
林 忠四郎	Hayashi, Chushiro	(京都大学)	菅本 晶夫	Sugamoto, Akio	お茶の水女子大学
穂積 俊輔	Hozumi, Shunsuke	滋賀大学	菅沼 秀夫	Suganuma, Hideo	京都大学
池田 清美	Ikedai, Kiyomi	(新潟大学)	杉本 大一郎	Sugimoto, Daiichiro	放送大学
石崎 章仁	Ishizaki, Akihito	京都大学	杉本 潔	Sugimoto, Kiyoshi	朝日新聞社
井沢 瑞夫	Izawa, Mizuo	水産大学校	杉本 聡	Sugimoto, Satoru	京都大学
門坂 拓哉	Kadosaka, Takuya	立命館大学	杉本 茂樹	Sugimoto, Shigeki	京都大学
延興 佳子	Kanada-Enyo, Yoshiko	京都大学	高橋 圭次郎	Takahashi, Keijiro	京都大学
勝又 郁枝	Katsumata, Fumie	奈良女子大学	高橋 智彦	Takahashi, Tomohiko	奈良女子大学
川上 則雄	Kawakami, Norio	大阪大学	武末 真二	Takesue, Shinji	京都大学
川崎 恭治	Kawasaki, Kyozi	(九州大学)	田中 一	Tanaka, Hajime	(北海道大学)
小林 由季	Kobayashi, Yuki	奈良女子大学	田中 正	Tanaka, Sho	(京都大学)
小原 洋二	Kohara, Yoji	日本大学	巽 友正	Tatsumi, Tomomasa	(京都大学)
小沼 通二	Konuma, Michiji	(慶応義塾大学)	野老 努	Tokoro, Tsutomu	立命館大学
九後 太一	Kugo, Taichiro	京都大学	当真 賢二	Toma, Kenji	京都大学
国広 悌二	Kunihiro, Teiji	京都大学	登谷 美穂子	Toya, Mihoko	京都大学
益川 敏英	Maskawa, Toshihide	京都産業大学	内山 忠	Uchiyama, Tadashi	近畿大学
嶺重 慎	Mineshige, Shin	京都大学	上田 昌宏	Ueda, Masahiro	大阪大学
宮谷 淳史	Miyatani, Atsushi	東京工業大学	脇坂 隆之	Wakisaka, Takayuki	大阪市立大学
水口 毅	Mizuguchi, Tsuyoshi	大阪府立大学	山内 大介	Yamauchi, Daisuke	大阪大学
武藤 恭之	Mutoh, Yasuyuki	京都大学	矢崎 紘一	Yazaki, Koichi	東京女子大学
中 竜大	Naka, Tatsuhiko	立命館大学	吉村 太彦	Yoshimura, Motohiko	岡山大学
中西 襄	Nakanishi, Noboru	(京都大学)	吉野 裕高	Yoshino, Hirotaka	東京工業大学
中尾 裕也	Nakao, Hiroya	京都大学	弓中 夏子	Yuminaka, Natsuko	古野電気株式会社
南部 陽一郎	Nambu, Yoichiro	シカゴ大学	瀬々 将吏	Zeze, Syoji	慶応義塾大学
西山 精哉	Nishiyama, Seiya	高知大学			

編集後記

本プロシーディングスは、ビデオ2台で撮影した映像を元に音声の起こしを行い、講演者・座長による校正を経て編集者がまとめたものである。研究分野を切り開いて来られた大先輩の話の直接聞くチャンスにめぐまれた幸いを、参加できなかった方々や後世にも臨場感あふれる記録として提供し、多くの刺激を得てもらうという当初の目的はかなり達成されたのではないだろうか。例えば話し口調一つとっても、講演者の研究者としての研究姿勢を髣髴とさせるものがある。また、夜の基研サロンでの懇親会では、率直で貴重な議論がされ、その記録からも多くの事実と示唆が得られるだろう。

最後になるが、本プロシーディングスを早期に出版するためにオフィス・ロックホップの黒畑彩子さんには無理なスケジュールでテープ起こし業務をお願いした。また、伊藤克美氏(新潟大)には一部原稿を修正していただいた。当日のビデオ撮影、機材準備を宮下和洋氏(金沢大)に、講演者のスライド収集を光藤哲也氏(京都大)に手伝っていただいた。なお、本プロシーディングスは基礎物理学研究所の研究計画として出版されるが、他に文部科学省科学研究費補助金(17650237「科学教育におけるITを活用した歴史教材＝「仮想博物館」の開発」青木健一(代表)、五十嵐尤二、伊藤克美、遠藤理佳、小沼通二、登谷美穂子)、京都大学理学研究科、金沢大学自然科学研究科からのサポートも得ている。これらのサポートに感謝して編集作業を終えることにする。[2006.02.27 編者]

編集部より

「物性論研究」「物性研究」に掲載された論文等の著作権の委譲について

「物性研究」の Vol. 73 No. 2 (1999 年 11 月号) 以降に掲載された論文 (その他掲載記事全てを含む。以下同じ) は、「物性研究」の冊子表紙裏の第 3 項に明記されていますように、その著作権が物性研究刊行会に帰属することとなっております。

これ以前に刊行された「物性論研究」1 号 (1943 年 8 月号) ～ 106 号 (1957 年 3 月号)、「物性論研究」二集 1 巻 1 号 (1957 年 4 月号) ～ 13 巻 1 号 (1963 年 8 月号) および「物性研究」Vol. 1 No. 1 (1963 年) ～ Vol. 73 No. 1 (1999 年 10 月号) の論文については、当時著作権に関する認識が浅く、著作権の委譲に関する規定がありませんでした。しかし、それらの論文に対しても、他への転載許可など著作権に関する行為は、従来慣行として、物性研究刊行会が行ってきており、現在に至っています。

つきましては、「物性論研究」1 号 (1943 年 8 月号) ～ 106 号 (1957 年 3 月号)、「物性論研究」二集 1 巻 1 号 (1957 年 4 月号) ～ 13 巻 1 号 (1963 年 8 月号) および「物性研究」Vol. 1 No. 1 (1963 年) ～ Vol. 73 No. 1 (1999 年 10 月号) の論文については、改めて、著作権者より物性研究刊行会へ著作権を委譲していただきたくお願いいたします。具体的には、

1. 物性研究刊行会が、論文の全部または一部を電子版に掲載・複製するなど、
いわゆる学術情報としてそれらを利用すること、
2. 第三者が同様な利用を行う場合の許可を物性研究刊行会が行うこと、
3. 上記 1、2 の行為により収入がある場合は、この収入を物性研究刊行会の
運営費用に当てさせていただくこと、

につき、著作権者のご了承を得たいと思います。

以上のことに関し、ご了承いただき難い場合、あるいはご不審の点がおありの場合は、2006 年 8 月 31 日までに物性研究刊行会までお申し越し下さい。物性研究刊行会は詳しくご説明申し上げ、またお話し合いをいたし、お考えにそえるよう努力するつもりであります。お申し越しのないときは、以上のことに關してご了承をいただけたものと考えさせていただきます。

なお、物性研究刊行会はこの会告がすべての該当する方々の目に触れることを願っておりますが、期限後においても、何らかの事情でこの会告を知る機会がなかったという理由で、該当者からのお申し越しがあれば、物性研究刊行会はあらためて詳しくご説明・ご相談をいたすつもりであります。

物性研究刊行会

Tel. (075) 722-3540, 753-7051

Fax. (075) 722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

編集後記

湯川秀樹博士夫人のスミさんが96歳で亡くなられたことを、先の5月15日の新聞報道で知りました。実はちょうど昨年5月の編集会議当日、偶然にも会議の始まる直前に、湯川博士の功績をたたえたユネスコメダル伝達式があり、記者会見に臨まれていたスミさんが大変若々しかったことを鮮明に記憶しています。それだけに、今回の訃報は大変残念なことです。

先月号の編集後記にもありましたように、本年度は湯川博士、朝永振一郎博士生誕百年を記念する年にあたり、各地で記念講演会や展示会が開かれています。以前、何気なくテレビをつけたら湯川博士と司馬遼太郎氏の対談番組が再放送されており、慌ててビデオに録画したことがあります。前半部分を録画できなかったのですが、対談の話題は和歌山に関するもので、「魚の習性を研究して網で大量に魚を捕る漁法を最初に開発したのは紀州の人である」という司馬氏の発言に湯川博士が感嘆の声をあげ、「和歌山は平地が少なく、米もあまり獲れないので、漁業が発達したのではないか」と応じています。リラックスした雰囲気魅力的で、湯川博士の肉声を聞くことのできる貴重な資料として楽しんでいます。この番組は、「核兵器廃絶」を切望する湯川博士の声で締めくくられますが、このたび亡くなられたスミ夫人も、博士の遺志を受け継ぎ、最後まで平和運動に尽力されたと報じられています。研究生活から平和運動まで常に博士と二人三脚で歩んでこられたのだろうという思いがします。

(H. K.)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
常次 宏一 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
泉田 涉 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
吉森 明 (九大・理・物理)
関本 謙 (パリ第7大学・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 86 卷第 3 号 (平成 18 年 6 月号) 2006 年 6 月 20 日 発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
常次 宏一 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
泉田 涉 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
吉森 明 (九大・理・物理)
関本 謙 (パリ第7大学・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 86 卷第 3 号 (平成 18 年 6 月号) 2006 年 6 月 20 日 発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物性研究 86-3(6月号)目次

○研究会報告

「学問の系譜 -アインシュタインから湯川・朝永へ-」…………… 253

○編集部より

「物性論研究」「物性研究」に掲載された論文等の著作権の
委譲について…………… 489

○編集後記…………… 490

物 性 研 究 86-3 (6月号) 目 次

○研究会報告

「学問の系譜 -アインシュタインから湯川・朝永へ-」…………… 253

○編集部より

「物性論研究」「物性研究」に掲載された論文等の著作権の
委譲について…………… 489

○編集後記…………… 490